

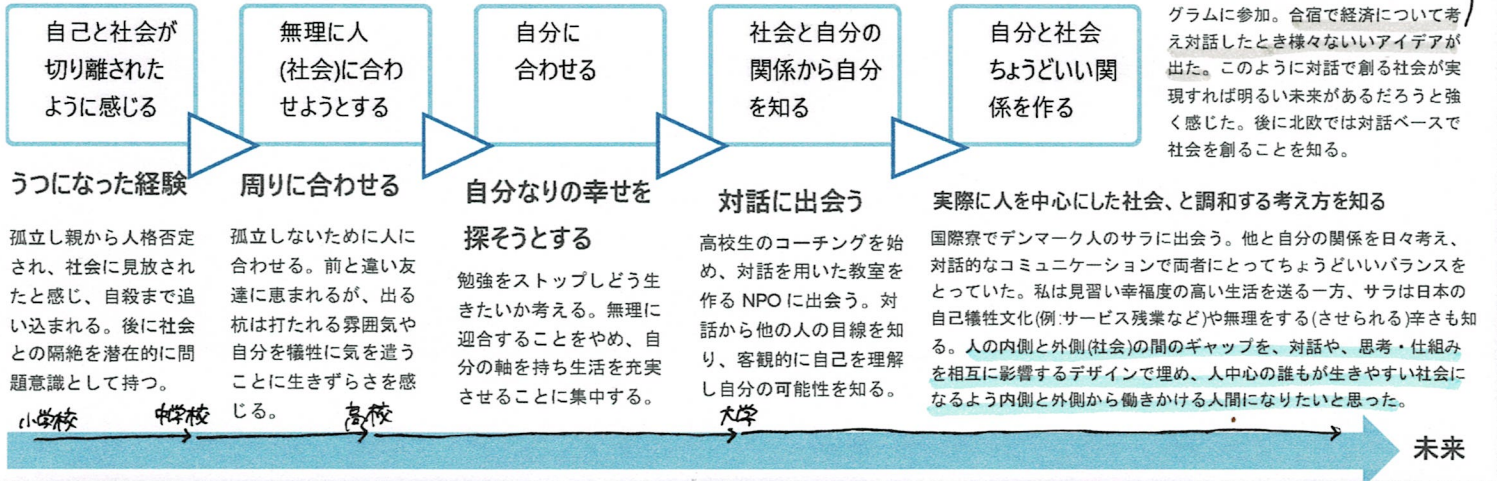


対話で生まれた社会の形

(対話×デザインで生まれる?) デンマークの人を中心にした組織・まちづくりを学ぶ 留学によってどんな自分になりたいのか

人を中心とした組織・まちづくりを内側と外側から行うことで、より生きやすい well-being な社会の実現を目指す!

留学前の自分

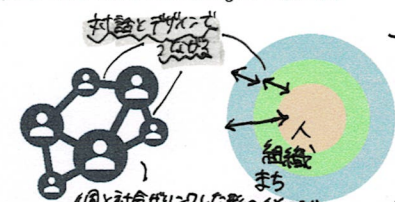
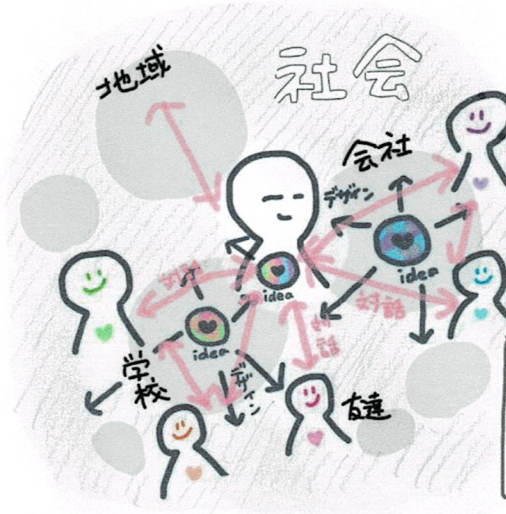


留学後の自分【こんな社会を実現したい】

個と社会がリンクし調和した Well-being な社会。

私たちは他との関係性を築く中で、組織、まち、などを作り、社会を形成する。今の日本の社会は一人歩きし、私たちの1人1人の生き方を疎外しているように感じる。だからこそ、1人1人が対話とデザインでつながりあい、組織をつくり、まちをつくる。そうして人が社会を、社会が人をつくる。そんな社会を実現したい。

- > 個々が社会とちょうどいいバランスを作り調和し、自分らしく生きることができる。
- > 対話とデザインで、潜在的な可能性や新たな価値を引き出したり、パズルピースのように補い合ったりすることで個人と共に社会も成長する。
- > 私たちは、社会との関わりの中で理想の自己の形や生き方を日々探求し、実現に近こうとする。それが1人1人の Well-being につながる。



対話
~自己と他の関係性を探る
~相互理解、自己の理想を知る

デザイン
~表現すること、実装していくこと、目に見える形にすること

留学中の自分

フォルケホイスコーレ
<取りたい授業> (8~1月)
・デンマーク語(より深くデンマークを学ぶため)
・心理学・*パタゴジー
・アート&デザイン



学校で、他との関係性の築き方、その教育を学ぶ

フォルケホイスコーレとは?

18歳以上対象の4か月~1年程度の全寮制の学校。高校卒業後のギャップイヤーから新しい人生のキャリアを歩みたい大人まで様々。興味のあること学び、また共同生活を通して自分を見つめ直す。教科はアート、スポーツ、福祉など学校やコースにより様々。

基本思想

「共に生きるために平等な社会を築き、個人の自由を尊重できる人を育てる」「社会性を促し、自分の言葉で表現できるようにし、想像力を身につける」

施設訪問(2~7月)

教育施設や介護施設、役所やデンマーク独自の場所(島民主導で再生可能エネルギー100%を実現したサムソ島や屋上芝生スキー場のごみ処理場コペンヒルなど)を訪問。人中心の社会が対話とデザインでどうできているか見て回る。

インターンシップ(2~7月)

北欧と日本をつなぐコンサルグループでインターン。調査や記事の執筆を通し北欧社会への知見を深める。また北欧のアイデアと掛け合わせた日本の形について考える。

トビタテの留学で還元できること(私の夢)

対話とデザインでさらに豊かな社会へ



みんな幸せになってほしい。
それを私の夢とともに叶える最初のスタートがトビタテ留学です。

対話×デザインでつくる人中心の社会を学び社会に実装するためには、柔軟な学びを選択できるトビタテ留学が必要です! 合格したら、留学で持ち帰った対話とデザインの知見をトビタテのコミュニティづくりに生かし、ネットワークを強く広くします。

留学後【展望】

人を中心にした組織・まちづくりを考え実装

・ライフデザイン、などコーチング
・北欧式の自ら考える教育方法
→学校・研修などへの応用

・コミュニティデザイン、居場所づくり
・労働環境の改善
・背景が違う人(外国人なども含む)
とのコミュニケーションを考える

・福岡の都市計画、スマートシティ構想
・*ペタゴの概念や役割の応用<その他>

つなげる

トビタテ留学
大学院で対話・デザインで創る人中心の社会を考える

学びを深める >>> 社会に出て実装 >>>

商学部でビジネスや人・組織・まちづくりについて学ぶ

教育やまちづくりに参加

◎インターンで得たスマートシティなどの専門的な知見や、潜在的な思考に迫る対話的コミュニケーション、それをデザイン(表現)するスキルを生かし、人中心の豊かな社会への変革を起こす。具体的にはコンサル業でまちづくりや組織改革に関わり、**社会問題をより自分事にし、誰もが変革を起こしていける仕組みや流れを創る。**【-人と組織・まちをつなげる。】well-beingや循環型社会、市民が街をつくるスマートシティやリビングラボなどの視点を社会にデザインする。

◎教育系ビジネスにも参加し、大人・中高生へのコーチングや生涯学習の推進を行う。デンマークの先生のように、**個の可能性を引き出し、様々な人の理想の自己を振り出すサポート**をすることで、日々目標に向かい**前に進む幸せに気付かせられるような人間になりたい。**

困難を克服した経験

※ペタゴ(pedagog)とは：国家資格を必要とし社会的な自立を支援する専門職。教育機関や福祉施設、民間においても様々な場所に存在。社会の中で生き人間関係を構築するためのサポートを行う。デンマークの個を育てる教育において重要な役割を果たす。
※ペタゴジー(pedagogy)：教育学。

ベトナム料理屋のオープニングスタッフとしてのアルバイトで、10か月間外国人と仕事をする経験した。未知の言語の中日本人1人で仕事をする事が多く、初アルバイトで右も左も分からず生活がかかっていたため、大きな困難だった。

遠回しに意思を伝える日本人と違い、ベトナム人は思ったことを強く言うことがかなり戸惑った。また日本語が通じず誤解が積み重なり信用を失い、文化の違いとコミュニケーションの難しさを痛感した。

どう克服したか

- 地道にコミュニケーションを工夫した
- ・相手への思いやりや気遣いを行動で示す
- ・あいさつや「今日学校?」「お客様がおいしいうちで言っていました」など
- ・言葉分からなくても**笑顔**で輪に混じった
- ・YESとNOをはっきり言うようにした

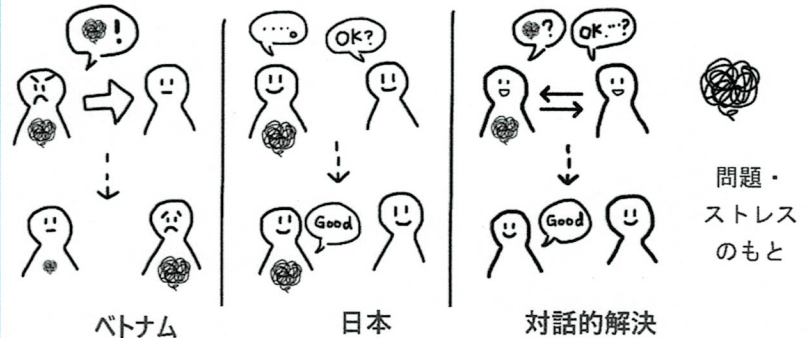
徐々に信頼
されいい関係
を築く



厨房とホールをつなぐ役割を任せられるように!

何を学んだか

- ① 異文化コミュニケーションや相手と良い関係を築くのに大切なこと
 - ・相手への興味・尊敬を示すこと
 - ・心を広く持つこと(寛容さ)
 - ・自分の軸を持ち、相手が理解するよう伝えること
- ② 言語にあまり頼らずコミュニケーションをとるスキル
(ボディランゲージや表情での感情の表し方、簡単な言葉でのコミュニケーションなど)
- ③ 文化の違いと新たな対話的コミュニケーションの発見



対人関係で問題を感じたとき、ベトナム人は相手にはっきり言う。負の感情は自分から相手にシフトすることもある。日本人は相手を傷つけない代わりに抱え込むことが多い。対話では勇敢な発言と謙虚な受け止めで根本的解決を考える。

アピールポイント

全ての経験を学びに変える力

困難にぶつかったとしても立ち止まって冷静に考え、学びに変えることで次のステップへの糧としてつなげます。物事を掘り下げて考えて抽象化することが得意で、他の事象に当てはめることで1つの出来事からいくつもの学びを得ることができます。普段から物事についてよく深く考えたり、ノートに毎日の振り返りを書いたり、それを対話し深めることで、常に自己と他や、他と他の関係を問い直しこのような力を身に着けました。

留学にトビタつための心得

1年間国際寮で生活し留学に成功した人と失敗した人を実際に近くで多く見てきたこと、ほぼ外国のような環境で働いた経験から、実際に自分がトビタつて留学したとき、どのように過ごすべきか学びました。現地の人への興味を示し、勇気と謙虚さを持って現地の人々の環境に身を投げ出して試みるのが大切だと感じています。全ては自分の姿勢次第だと思うので、初心を忘れずに頑張ろうと思えます。

行動力・仲間を巻き込み成長する力

高校3年生から1年半、夢を探すため様々な人と出会い価値観に触れてきました。挑戦と挫折を繰り返し仲間と切磋琢磨しながら、夢を見つけことができました。その経験と縁は宝物で私の大きな原動力です。以上より、私はこのようにトビタテに貢献できると考えています。①留学に行き現地の人・トビタテ生などネットワークを広げる ②共に成長する ③発信してさらに多くの人を巻き込む ④人々と夢をつなげる ⑤みんなで明るい未来を創る

↓震災のスタディーツアー ↓対話のNPO ↓教育プログラムの合宿(左)コンポストを学ぶ(右) ↓コンテストでプロジェクト発表 ↓国際寮 ↓デンマーク仲間↓

